様式２【該当教員自己評価表（幼稚園・認定こども園・幼稚部）】

令和４年度　中堅教諭等資質向上研修　該当教員自己評価表

氏 名

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評　　価 | [４]十分できている | [３]おおむねできている | [２]あまりできていない | [１]できていない |
|  |
| 評 価 項 目 | 評 価 に 当 た っ て の 考 慮 事 項 | 評　　価 | 総合評価 |
| 素養 | 教育的愛情使命感 | ①教育のもつ社会的役割を理解し、幼児の成長のために教育に携わる意欲がある。 | ４･３･２･１ | ４･３･２･１ |
| ②園(学校)での幼児教育を牽引するために、教員として幅広い教養を備え、人間的魅力を高めるように行動している。 | ４･３･２･１ |
| 倫理観人間性社会性 | ①教育公務員としての自覚の下に、服務規律を遵守し、規範意識をもって職務に専念している。 | ４･３･２･１ | ４･３･２･１ |
| ②社会人としての良識、マナーを身に付けている。 | ４･３･２･１ |
| ③幼児が、互いを尊重し、社会的の基本的なルールの存在に気付いてそれに従った行動ができるような素地を　身に付けるよう指導している。 | ４･３･２･１ |
| コミュニケーション力 | ①報告や相談をするときに客観的な事実や同僚の思いを踏まえて､自分の意見や方針を述べている。 | ４･３･２･１ | ４･３･２･１ |
| ②話合いの場において、協働体制を築くことができるよう提案することができる。 | ４･３･２･１ |
| 学び続ける探究心 | ①園(学校)など職場が用意した研修機会に積極的に参加し、資質向上に努めている。 | ４･３･２･１ | ４･３･２･１ |
| ②自主的に園(校)外の研修等に参加し、研修成果を実践に活かしている。 | ４･３･２･１ |
| 指導力 | 幼稚園 (特別支援学校幼稚部) 教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容と教育課程の編成 | ①園(幼稚部)の教育課程の具体的実施計画として、長期･短期の指導計画を構造的に作成している。 | ４･３･２･１ | ４･３･２･１ |
| ②個々の幼児の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している。 | ４･３･２･１ |
| ③日々の保育の記録をとり、自ら検討するとともに、教員間で話し合い、次の指導計画に活かしている。 | ４･３･２･１ |
| ④チーム保育の場合に、互いの考えを十分に理解し合い、指導計画を作成している。 | ４･３･２･１ |
| 遊びを通した総合的指導 | ①幼児の主体的な学びを引き出す為に、遊具・素材・用具・時間・場等を準備している。 | ４･３･２･１ | ４･３･２･１ |
| ②他学級との関係、自然環境、地域の特徴なども生かす保育の場の設定をしている。 | ４･３･２･１ |
| ③季節、一日の流れなどの時間的要因も環境として捉えて、保育に活かすよう配慮している。 | ４･３･２･１ |
| ④幼児の実際の活動に合わせ、柔軟に環境を構成したり、声かけしたりできる。 | ４･３･２･１ |
| 幼児理解全般の能力 | ①個々の幼児の特性を理解し、担当の幼児同士の関係を的確に把握している。 | ４･３･２･１ | ４･３･２･１ |
| ②温かい態度で受け止めることによって、幼児の緊張、不安をうまく解消している。 | ４･３･２･１ |
| ③個々に応じた働きかけにより、信頼関係を早期に築くことができる。 | ４･３･２･１ |
| ④幼児と共に活動することを心から楽しむことができる。 | ４･３･２･１ |
| ⑤幼児と共感し、満足感や心の安定を与えている。 | ４･３･２･１ |
| ⑥活動の中で、善悪の判断、思いやりの気持ちなどを、適切な言葉と行動で示している。 | ４･３･２･１ |
| ⑦特別な支援が必要な幼児への理解と指導を、適切に行っている。 | ４･３･２･１ |
| 福井の教育を支える研究・連携 | ①園(校)内研修などでOJTに取り組み､学び続ける教員としての資質･能力を高めようとしている｡ | ４･３･２･１ | ４･３･２･１ |
| ②幼小接続を意識した長期的な視点をもって幼児を保育している。 | ４･３･２･１ |
| マネジメント･人材育成 | 業務改善（働き方改革に向けて） | ①自分や同僚のスケジュール管理に努め、職務のさらなる効率化を図ったり、余暇を生み出したりすることができる。 | ４･３･２･１ | ４･３･２･１ |
| ②園(校)務分掌や園(校)内における会議､行事を精査･精選し、働き方改革に向けた提案と実践ができる。 | ４･３･２･１ |
| 学級経営 | ①個々の幼児を学級の一員として大切にすることにより、幼児同士もお互いを大切にする学級になっている。 | ４･３･２･１ | ４･３･２･１ |
| ②幼児に受容的、共感的に関わりながら思いを引き出している。 | ４･３･２･１ |
| 社会の変化への対応 | ①常に社会や時代の要請を的確に把握し、自分の園(学校)の問題点、課題等を明確にしている。 | ４･３･２･１ | ４･３･２･１ |
| ②園(学校)経営方針に基づき、自分の園(学校)の課題についての改善策を示すなど、園(学校)運営の改善に努めている。 | ４･３･２･１ |
| ③社会の動きに対応して、指導に新たな工夫・改善を取り入れている。 | ４･３･２･１ |
| 学校安全危機管理 | ①日々の生活における健康・安全に十分配慮した指導を行っている。 | ４･３･２･１ | ４･３･２･１ |
| ②事故、問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が迅速で的確である。 | ４･３･２･１ |
| ③幼児に関する個人情報の取り扱いが厳密である。 | ４･３･２･１ |
| 人材育成 | ①ＯＪＴを意識し、若手教員に対して具体的で適切な助言を行うことができる。 | ４･３･２･１ | ４･３･２･１ |
| ②同僚等と互いの悩みや課題について相談し、支え合う風土づくりに努めることができる。 | ４･３･２･１ |
| 連携・協働 | 組織における協働 | ①園(学校)全体の運営方針・目標を把握し、職務全般に反映させている。 | ４･３･２･１ | ４･３･２･１ |
| ②園(幼稚部)の運営について自分のこととして常に考え､職員会議等において建設的な発言をする。 | ４･３･２･１ |
| ③必要に応じて園(校)長などにきちんと報告・連絡・相談を行っている。 | ４･３･２･１ |
| 家庭や地域社会との連携 | ①家庭との連携を密にし、個々の幼児について入園(入学)前や家庭での生活の様子も把握し、保育に活かしている。 | ４･３･２･１ | ４･３･２･１ |
| ②保護者と話をする機会をできるだけ設け､保育に生かすとともに､子育ての相談相手となっている｡ | ４･３･２･１ |
| ③機会をとらえて地域の人に園(幼稚部)を理解してもらうよう努力している。 | ４･３･２･１ |
| ④地域の行事などに積極的に参加しようとする姿勢がある。 | ４･３･２･１ |
| ⑤地域の人材、施設、自然などを保育に組み入れようという意識を持っている。 | ４･３･２･１ |